

The Ushiku Times



NO. 22 Sep. 21 . 2 0 1 6

茨城県立牛久高等学校 校長室から

去る9月6日（火）に実施した
『アクティブ・ラーニング・フォーラム』
について報告します。

9月6日（火）牛久高校アクティブ・ラーニング・フォーラム2016実施

牛久市中央生涯学習センター文化ホール（牛久市柏田町1606-1）で、本校生・職員・保護者、牛久市内小・中学校及び県内高等学校の先生方、県教育委員会・研修センター関係者等、約900名の参加があり、以下3名の方によるフォーラムが行われました。出演者は次のとおりです。

- ① 羽根拓也（はねたくや）氏 : 株式会社アクティブ・ラーニング代表取締役社長
- ② 古新舜（こにいしゅん）氏 : 映画監督・コミュニケーションデザイナー
- ③ TATSUYA（たつや）氏 : ビートボックス・パフォーマー



← 写真右から、羽根氏、中島並木中等教育学校長、私
TATSUYA氏、古新氏

※ 今回は、昨年度牛久高校の校長で、現在並木中等教育学校長の
中島博司先生が、懇意にされていらした羽根氏と古新氏に依頼して
いただいた企画でした。中島先生が「蒔いた種」は見事に「開花」
いたしました。 ありがとうございました。

【3氏のプロフィール】

羽根拓也氏は、ハーバード大学で日本語講師として活躍し、帰国後の1997年に東京でアクティブ・ラーニング社を設立。「日本のアクティブ・ラーニングの先駆者」。

古新舜監督は、新進気鋭の若手映画監督。現在、学生や社会人向けにコミュニケーション力を育む「シネマ・アクティブ・ラーニング」を全国で展開中。また、屋久島を舞台とした長編映画「あまのがわ」を制作準備中。

TATSUYA氏は、ヒューマンビートボックスで4回連続日本一に輝いているビートボックス界のカリスマパフォーマー。2010年に一般社団法人「日本ヒューマンビートボックス協会」設立、代表理事。

今回の、羽根拓也氏プロデュースによる『ALフォーラム』は、3氏から生徒に向けて

「若い時に、自分のために一歩前に踏み出すこと」

というメッセージを送っていただきました。

フォーラムの内容については、次号でお伝えいたします。

The Ushiku Times



NO. 23

Sep. 21 . 2016

茨城県立牛久高等学校

校長室から

去る9月6日(火)実施

『アクティブ・ラーニング・フォーラム』続き



牛久高校アクティブ・ラーニング・フォーラム2016 振り返り (9月13日実施)

設問1: アクティブ・ラーニングに対する意識が高まりましたか。

回答者642人中530人(82.6%)が「大変そう思う」「そう思う」と回答

設問2: 「アクティブ・ラーニング・フォーラム」(全体)の満足度

回答者704人中649人(92.2%)が「大変満足」「まあまあ満足」と回答

※ 生徒の声を拾ってみました。

設問3: 「アクティブ・ラーニングで何を学ぶか」(講師: 羽根 拓也氏)に参加して

- ・「自分のために一歩踏み出すこと」で得るものがたくさんあると分かりました。
- ・アクティブ・ラーニングは、自分のため誰かのために新しいことに挑戦していくことだと分かりました。

設問4: 「映画のストーリー制作をととした体感型「シネマ・アクティブ・ラーニング」(講師: 古新 舜氏)

- ・小さな社会の中で、これからどう生きていくべきか考えようと思いました。
- ・前向きに自分の気持ちを考えれば、世界は変わると思いました。

設問5: 「夢を実現するための『アクティブ・ラーニング』」(講師: TATSUYA氏)

- ・好きなことにはたとえつらいことがあっても、あえて違う方法を考えて続けることの大切さを知りました。
- ・20歳から始めて、世界一を目標に。とにかくあきらめないことは大事だと感じました。
- ・『ヒューマン・ビート・ボックス』を初めて生で見ました。本当にすごい! かっこいい! ←多数